令和２年度使用中学校用教科用図書の採択結果等について

種　目	発行者	採　　択　　理　　由
国　語	東書	巻頭の各単元の学習のねらいや学習の進め方の提示により、１年間の学びに対して視覚的に見通しや目的をもつことができるようになっている。また、言語活動の充実についても学習指導要領に示された活動例が網羅されている。特に、「書くこと」では、１６の学習材が設定されており、螺旋的な学びができるようになっている。加えて、巻末には資料編が示され、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」に係る基礎的・基本的な事項及び目的に応じた読書に関連する事項並びに学習用語が示され、既習事項を振り返ることができるようになっている。
書　写	東書	ＡＢ版で幅が広く、手本の外に注釈が示されているため、書写をする時に注釈が邪魔にならない。また、運筆を擬音で説明する等の工夫も見られる。加えて、人名漢字表も示され、日常生活において参考にすることができる。
社　会 （地理的分野）	東書	興味・関心を喚起する導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習内容を整理する「確認」まで構造化されており、基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための工夫がされている。また、小学校における既習事項や他分野を関連付けた構成となっており、小中９年間の学習を系統的に進めることができる編集となっている。さらに、掲載写真や地図が最も多く、作業的・体験的な学習も充実している。
社　会 （歴史的分野）	東書	１単位時間を見開き２ページとし、興味・関心を喚起する導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習内容を整理する「確認」まで構造化されている。また、教科横断的な学習として扱える特設ページも豊富で充実している。さらに、資料や図が大きく、精選されており、時代区分ごとの統一感をもたせた色調により学習効果を高める紙面構成となっている。見開きの右ページの下にある「確認」コーナーや章末のまとめでは、学習した内容を箇条書きや年表・新聞形式で表現させるなど多様性が認められ、思考力・判断力・表現力育成の基盤となる言語活動の充実にも十分に対応している。
社　会 （公民的分野）	東書	１単位時間を見開きとし、興味・関心をもたせる導入資料、学習のめあてが分かる「学習課題」、学習内容を整理する「確認」が構造化してまとめられており、基礎的・基本的な知識を定着させる工夫がされている。また、分野関連マークを配置し、他分野や既習事項との関連が図られている。さらに学びやすい内容構成となっており、配列・分量とも適切である。そして、資料や図が大きく、精選されており、単元ごとに統一感をもたせた色調や落ち着きのある紙面構成や、用語解説など、全体的に学習者への細かな配

		慮がなされている。さらに、１単位時間のまとめや章末には、学習活動を振り返らせる工夫がされている。さらに、主体的に学習に取り組むための作業的・体験的な学習も多彩である。
地　図	帝国	見開きを使うなど、国の全体像や地域間のつながりを意識したレイアウトが施されている。例えば「大阪府とそのまわり」では、近畿地方中央をページ中心に配置する場合、大阪市や神戸市あたりにページの境目がくる。中心的な都市間のつながりを意識し、あえてページ境目を明石市周辺とし、阪神地域を同一ページに掲載している。また、各州で「同緯度・同縮尺の日本」が表記され、常に日本との比較ができるよう編集されている。さらに、世界の諸地域や日本の諸地域の学習において、様々な主題に対応できるよう、資料や図等が配置され、自然・産業・文化を中心とした基礎的内容を考察するよう工夫されている。そして、地図を見る際の着眼点を示したり、地図の活用（読図、作図）を促したりするなど、多面的・多角的に考察する力を高める学習ができるようになっている。
数　学	学図	既習事項を振り返り、主体的に学習に取り組むための問題がバランスよく配置されており、量的にも調和がとれている。また、多くのイラストや写真を掲載することで、生徒の考察を深めるための配慮がされている。また、学習内容の説明や例題及び基本問題が充実しており、単元の導入時には、新たな学習内容への興味・関心を高めることができるよう身近な題材を設定するとともに、主体的に学習に取り組む工夫がされている。
理　科	東書	巻頭部分の話合いや発表の仕方など言語活動が充実しており、以後の単元では、観察・実験などを取り入れ、一貫して問題解決学習を行っている。具体的には、課題、実験の目的、方法、結果の見方、考察、まとめである。さらに、写真や図が非常に美しく、表記も簡潔である。実験方法等が生徒に分かりやすく記述されており、器具の操作の仕方では、順序だけでなく理由も書かれている。既習事項の表記も簡潔で分かりやすく、活用問題も各単元で適切なものが示されており、発展的な学習への工夫がされている。
音　楽 （一般）	教出	それぞれの曲のねらいが明確に示されている。歌唱教材では学習活動のポイントも示され、イメージを膨らませながら多様な音楽活動ができるように工夫されている。創作教材では、「音のスケッチ」において系統的・発展的に学習できる内容となっている。鑑賞教材については、掲載楽曲が多く、また比較聴取もできるよう工夫されている。折り込み資料では全体像がつかみやすい。さらに、「音楽を形づくっている要素」が１ページに示されており、楽曲を聞いてそれらの働きに注目させる工夫がされている。

音　楽 （器楽合奏）	教出	各楽器の基本的な演奏方法が提示され、マスターできるようになっている。リコーダーについては、運指が楽譜のすぐ横に示されており、息のコントロールについて腹式呼吸の方法も記述されている。和楽器についても説明が詳しく、練習方法の工夫も示されている。発展的な学習については、アンサンブル曲が数多く掲載されているとともに、様々なジャンルがあり、生徒の実態に応じて選択できるよう工夫されている。また、「音楽のスケッチ」として創作活動が取り上げられており、器楽と創作を関連させながら活動できるように設定されている。
美　術	日文	題材ごとに「学びのねらい」を示し、どんな力が付いたのかを確かめながら学習を進めることができるように工夫している。また、全ページを通して授業がイメージしやすい紙面構成をし、大きな図版や具体的な作品解説、作者の言葉を多く掲載することで、発想・構想のヒントにつなげ、言語活動の充実を図ることができるよう工夫している。
保健体育	学研	各章の終末にある問題がより段階的であり、学習したことの振り返りや理解がしやすく工夫されている。また、授業の終わりにある既習内容を活用する発問等が、より生活に密着しており、学んだことの有用性を感じられる工夫されている。さらに、言語活動の充実を図るための表示や内容がより工夫されている。
技術・家庭 （技術分野）	東書	各学習内容が、「計画」、「実行」、「評価・改善」を繰り返すように設定されており、主体的な学習活動を促すさまざまな工夫も随所に見られ、問題解決能力を高めていくことができるようになっているとともに、他教科との関連や発展的な内容も記載している。さらに、伝統･文化に関する内容に日本の技術や技術者を紹介する内容も豊富で適切である。全体的に、イラストや写真、レイアウトを工夫し、生徒が意欲的に学習に取り組めるようになっている。言語活動においては、話合い活動等の充実により、思考力・判断力・表現力を高めるようになっている。
技術・家庭 （家庭分野）	東書	巻頭のガイダンスによって、小学校での学習内容を復習し、中学校での学習を見通すことができる。各節には必ず「目標」が示され、「動機付けの発問」が例示されている。また、問題を解決する筋道、生活の課題と実践の進め方の流れや意思決定のプロセスが統一されたデザインで示されており、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。言語活動の充実については、言語活動を取り入れた活動例や実習例、「まとめ方や伝え方のポイント」が示されているとともに、家庭分野の学習に関わる特有の言い回しや名称について「言葉のページ」で解説されるなどの創意工夫が見られる。
英　語	三省堂	各単元のはじめに単元の学習内容と到達目標を具体的に示しており、学習の展望をもちやすくする工夫がある。また、一つの単元の中に、基礎・基本な事項の習得とそれら

		の活用のための題材が、用語等についての丁寧な説明とともに４技能それぞれの特色を生かした形で配置されており、学習の段階がつかみやすい構成となっている。また、単元毎のまとめ、イラストによる文法事項の説明、巻末の語彙リストなど、生徒が自らの課題に応じて主体的に学習に取り組むことができるような工夫が多様である。